

住人十色

第 184 回

4大会で競う瀬戸内シクロクロス初制覇 「どんな難しいコースも、走り切りたい」

小林 千紘さん(内子小3年) 〓 護国 〓



◎各大会のメダルと、内子大会で優勝者に贈られた青いウェアを身に着けた千紘さん。自慢のバイクは雅章さんのカスタマイズだそう

オフロードの自転車競技大会「瀬戸内シクロクロスシリーズ2024-2025」が内子町を含む県内4会場で開催、小林千紘さんが出場。小学校低学年が対象のカテゴリー「キッズ2」で、シリーズ通算1位に輝きました。

千紘さんは父・雅章さんに「家族と一緒に楽しめるから」と勧められ、1年余り前にMTB(マウンテンバイク)を始めました。「こつこつたうまく走れそう」と親子で試行錯誤をしながら練習に励み、昨年11月の「小田川シクロクロスinうちこ」に参戦。初レースで優勝を果たします。未舗装の悪路や坂道を走るレースに「怖い気持ちはない」と話す千紘さんですが、2戦目の「重信川シクロクロス」で、まさかの転倒——。それでも「難しいコースを走りきれたら楽しいから」と気持ちを抑え、続く西予・鬼北の両大会で優勝し、見事シリーズを制覇しました。

千紘さんを見守る雅章さんは「MTBを通じて仲間と一緒に成長し、挑戦する気持ちを育ててほしい」と目を細めます。千紘さんは4月から八幡浜のクラブチームに入り、さらに技術を磨いています。愛車にまたがり「これからもいろいろなコースを走りたい。ジャンプ台にも挑戦したいな」と声を弾ませました。

編集 幸記

▽5月は過ぎ去りやすくて好きな季節です。表紙の撮影では、突撃取材させてもらったご家族と一緒に、川にぞぶってはしゃいでしまいました。そんな私も、今月で介護保険の第2号被保険者に。ナイスミドルを目指して、これから頑張ります(史)
▽友達に会いに徳島県へ行ってきました。意気揚々と乗り込んだ高速道路では大雨、視界不良。よつこの思いで到着し、一緒に食べた徳島ラーメンは最高でした。おいしいものをたんまりと蓄え、最近は節制の毎日です(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

